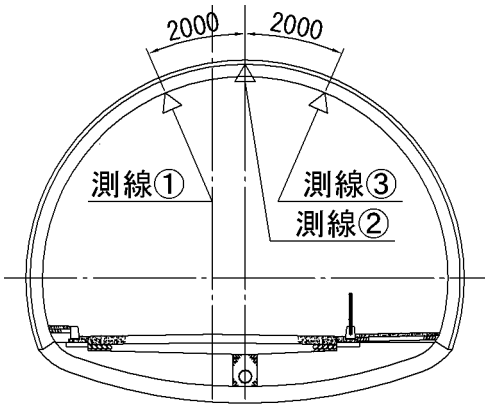
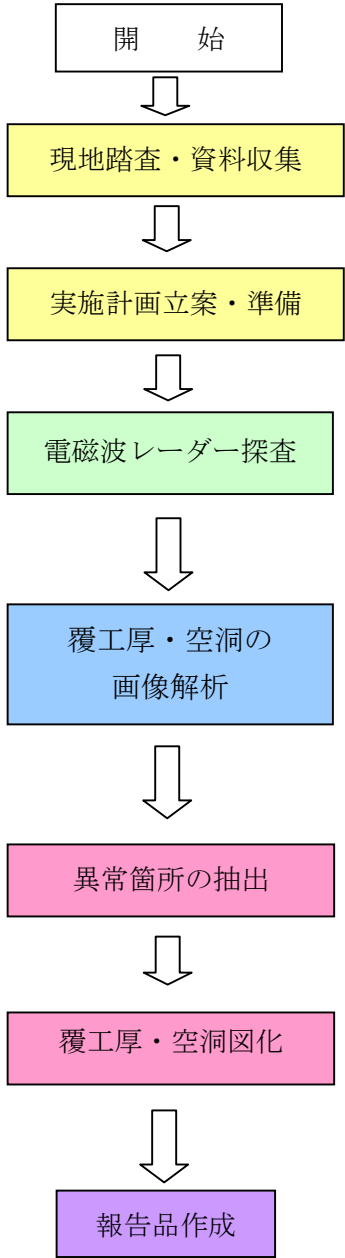


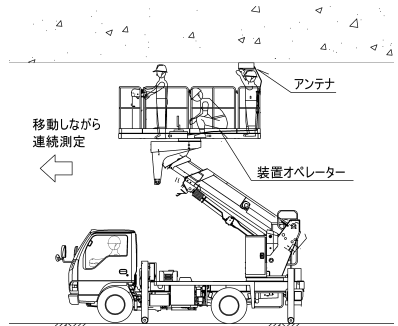
トンネル覆工レーダー探査



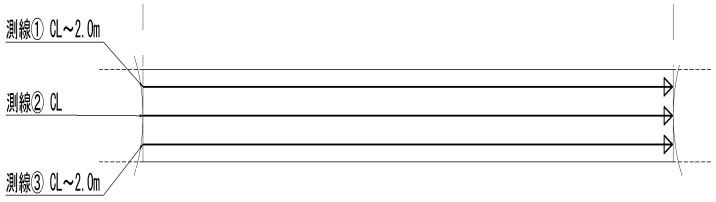
目的・方法： 覆工コンクリート背面の状況を電磁波レーダー装置を用い探査し、覆工巻厚、背面空洞有無を把握します。これには設計巻厚に応じた装置を選択します。解析結果を基に、異常箇所（空洞、巻厚不足）を指摘出来ます。



(a) 測線の配置例



(b) 測定台車



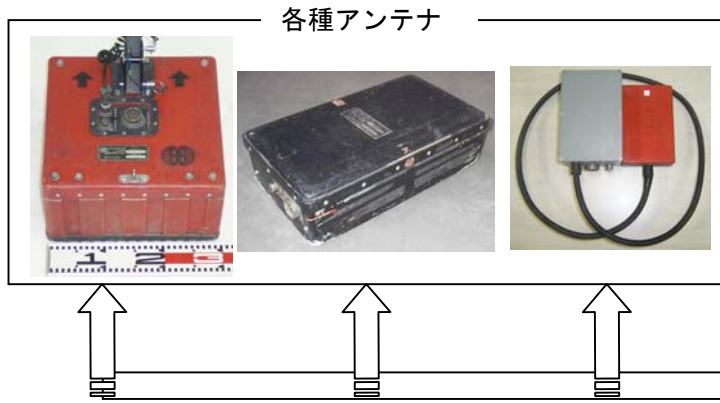
(c) 縦断測定測線例

〔原理・方法〕

原理： 探査方法は電磁波レーダー探査法と呼ばれる方法で、電磁波を覆工に放射し、その反射を計測、解析することにより対象物の内部構造及び、背面状況を知る方法です。
 測定： 天端および左右に測線を配置(3~6測線)し、覆工にアンテナを接し作業台車を縦断方向に連続的に走行させ探査します。通常台車には、トンネル点検車を持ちます。路面の状況に応じて、キャタピラー式高所作業車を持ちこることもあります。

〔装置〕

探査深度(巻き厚)、精度に応じた豊富なアンテナを適用して探査します。



400MHz
(矢板工法)

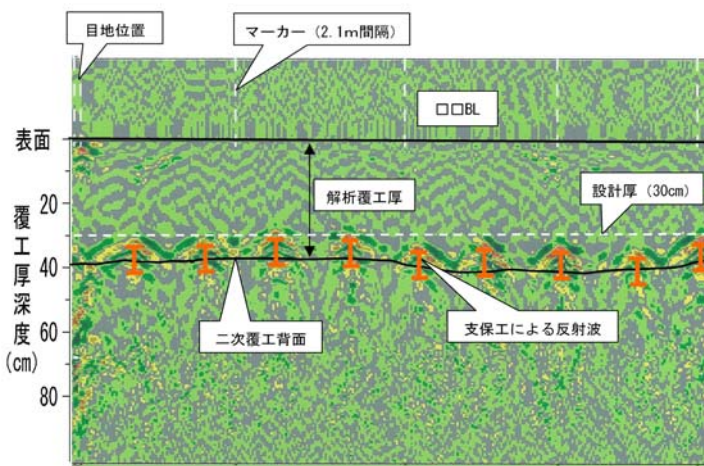
900MHz
(N A T M)

1500MHz
(かぶり測定)

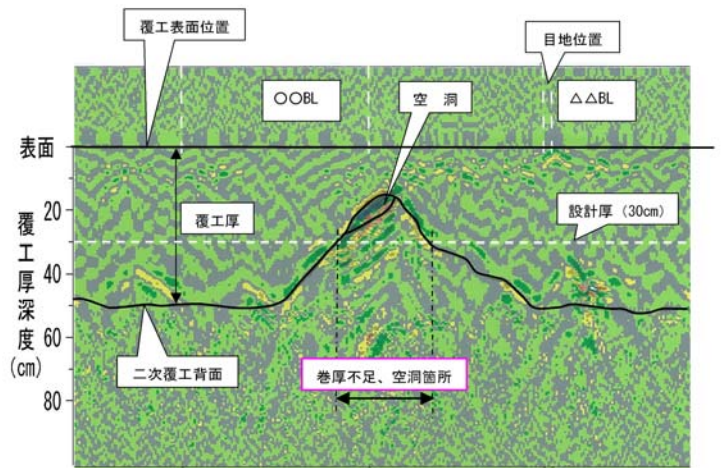
: 中心周波数
: 主な摘要範囲

〔解析〕

測定したデータを室内で解析し、覆工厚、空洞を判読し、縦断解析図として図化します。

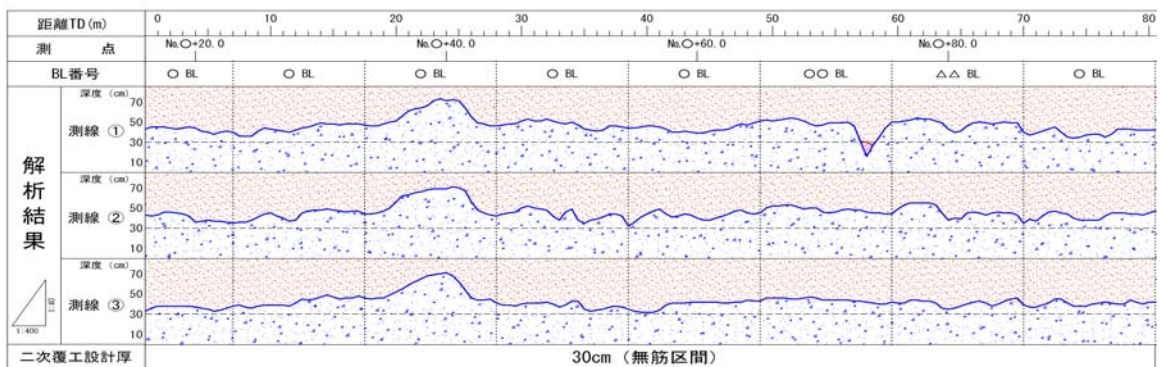


解析画像 (健全部)



解析画像 (異常部)

縦断解析図



お問い合わせ先：株式会社 メンテック

〒162-0804 東京都新宿区中里町 31 番地 さがみやビル 3 階

TEL 03-3513-7140 FAX 03-3235-4404